

廿日市市大野地域景況調査報告書（2022年4月～9月）

1. 旧廿日市市及び広島県内商工会地域における2022年4月～9月のDI値（景気動向指数）

		製造業		建設業		卸・小売業		サービス業	
		前年比	来期見通し	前年比	来期見通し	前年比	来期見通し	前年比	来期見通し
売上	大野地域	100.0	0.0	33.3	▲66.7	0.0	▲33.3	100.0	50.0
	旧廿日市市	61.5	▲9.1	20.0	0.0	▲33.3	▲44.4	0.0	▲7.7
	県内商工会地域	▲4.4	4.4	▲12.5	▲20.8	▲25.4	▲37.1	▲10.4	▲20.9
仕入単価	大野地域	100.0	66.7	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0	50.0
	旧廿日市市	92.3	90.9	100.0	80.0	100.0	77.8	66.7	66.7
	県内商工会地域	85.7	71.4	72.3	61.7	74.7	65.7	62.2	56.1
採算	大野地域	66.7	0.0	0.0	▲66.7	▲100.0	▲66.7	0.0	0.0
	旧廿日市市	38.5	45.5	80.0	40.0	11.1	0.0	0.0	▲15.4
	県内商工会地域	▲20.4	▲13.6	▲31.9	▲14.9	▲36.2	▲31.9	▲36.3	▲41.0

上記DI値からみた大野地域、旧廿日市市及び広島県内の景気動向であるが、前回調査に引き続いて仕入単価の上昇が激しいことが読み取れる。今後の見通しからも、価格上昇は止まる見込みがなく、企業活動が大きな影響を受けている。

次に業種別に景気動向を見ていくと製造業は、大野地域においては、今期は売上・採算ともに好調であった。一方でその反動からか、来期の見通しについては大幅な増加ではなく現状維持となっている。これは旧廿日市市においても同様の傾向である。

建設業については、売上については概ね好調であるものの、来期の見通しは厳しい状況である。こちらは広島県内の商工会地域においては、状況は好転していない。

卸・小売業においては、売上は依然として横ばいで回復が見られないことがわかる。また、今後の見通しについても、仕入価格の高騰が価格転嫁しにくいという問題もあり、売上高の回復に水を差すとともに採算面でも悪化が予想され、今期よりもさらに厳しい状況となりそうである。

飲食業・観光業などのサービス業においては、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いたことともに、旅行支援などの施策の影響で、売上については好調であった。また、今後の見通しについても、これから観光シーズンを迎えることもあり、概ね好調さが見込まれる。しかしその一方で、飲食店などを中心とする広島県内の全体をみると、決して好転しているとは言えない。

2. 大野地域サポーターの声

上記の、旧廿日市市及び広島県内の商工会地域の景況を踏まえたうえで、大野地域サポーターの2022年4～9月の景況感下記のとおりであった。

業種	サポーターの声
【製造業】	<ul style="list-style-type: none"> ○半導体入荷の目途が立たず出荷の予定か組めない ○順調で来年3月まで仕事が決まっている ○ドル高円安が止まらずこの先が見えない

	○仕入れ価格の上昇が止まらない
【建設業】	○7月、8月は好調であった ○昨年3月から比べると仕入れ価格は3倍になっているし、材料も入りにくい ○公共工事は非常に少なく、サミットに何かしらの期待をしたい ○慢性的な人手不足 ○仕事量は確保できている
【卸・小売業】	○売上は下げ止まり感がある ○消費者もウィズコロナに慣れてきた感がある。 ○仕入れ価格の高騰（1.7倍）が価格に転換しきれない（1.2倍が限界）が、それでも財布のひもは固い ○半導体不足により品薄感があるので、購入のタイミングは重要 ○輸入品は円安の影響が大きく高値となっている
【サービス業】	○ウィズコロナが定着してきた感があり、イベント等の実施が増えてきた ○飲食店関係の売上も上昇傾向 ○宿泊はコロナ前の70～80%程度 ○旅行支援は好調であるが、一部屋当たりの人数制限があるため、機会損失も発生している ○人手不足は慢性的である ○国内旅行者、修学旅行などは戻ってきている感があるが、外国人に関してはこれからではないか

3. 全国商工会地域における2022年8月のDI値（景気動向指数）

～感染急拡大による需要低迷、コスト増の影響による採算・資金繰りに苦しむ小規模企業景況～

DI	産業全体			製造業			建設業		
	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比
売上額	▲10.0	▲11.0	▲1.0	▲5.6	▲8.2	▲2.6	▲10.2	▲8.2	2.0
採算	▲51.4	▲47.9	3.5	▲54.8	▲55.4	▲0.6	▲60.2	▲56.4	3.8
資金繰り	▲40.0	▲37.1	2.9	▲40.6	▲43.2	▲2.6	▲48.6	▲43.1	5.5
業況	▲38.5	▲34.6	3.9	▲40.8	▲40.7	0.1	▲42.1	▲35.6	6.5

DI	小売業			サービス業		
	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比
売上額	▲12.0	▲19.7	▲7.7	▲12.3	▲8.1	4.2
採算	▲50.3	▲49.9	0.4	▲40.2	▲30.0	10.2
資金繰り	▲40.0	▲38.9	1.1	▲30.8	▲23.0	7.8
業況	▲40.6	▲42.4	▲1.8	▲30.5	▲19.4	11.1

<製造業> …一部で価格転嫁が進み好調であるも、慢性的な採算悪化に苦しむ製造業

<建設業> … 災害関連等の需要増による業況改善に転じるが、先行き不透明感の残る建設業

<小売業> … 商品の値上げ、感染症の急拡大等による、売上の悪化に苦しむ小売業

<サービス業> … 行動制限のない盆休みで活況を取り戻すも、感染急拡大の影響に苦しむサービス業